

防波堤外側は正常

東工大
の調査

水銀の濃度も低い



さる二十
四日から
水俣湾の
水質調査
に訪れた
清浦留作

東京工大教授一行七人は調査を終
え十九日午後一時から水俣市役
所で「水俣湾防波堤の外側海水は
ほぼ正常だ」とつぎのように語つ
た。写真：清浦教授

こんどの調査では潮之見沖三・
五の地点から熊本、鹿兒島両

まどわすのでいけないと思う。
水俣病の原因は現在の段階では
まだわからないが何の罪もない
漁民こそ気の毒だ。

県境神ノ川沿岸までの六十カ所
にわたり海水分析五箇点を行な
ったほか海底の泥土も全地域に
わたり調査（海底の泥土は帰京
後分析）した。その結果同湾の
海水は日本にある他の化学工場
所在地の海水とほぼ同程度で正
常だ。ただ水俣湾内防波堤の内
側は汚濁しているので同所には
魚は住めない。また重金属セレ
ン、タリウムなどが海水にとけ
ている状態は同湾内も他工場所
在地域とかわりはなく海底の泥
土は水にとけないのでこの点は
十分分析したうえで結果を出し
たい。また水銀についても他工
場地帯と大差なく水銀による魚
の致死量〇・〇四とした場合、
同湾内外の水銀濃度は、はるか
に低く千分の一か十万分の一の
結果が出た。熊大の水銀説は根
拠のないことではないが慎重に
取扱うべき問題で推論は世論を